

北朝鮮の核実験について（声明）

平成29年9月4日

原子力委員会

1. 昨日、北朝鮮が6回目、過去最大規模の地下核実験を実施した。これは、昨年11月30日の国連安全保障理事会（以下「国連安保理」という。）決議第2321号を含め累次の国連安保理決議に対する明白な違反であり、断じて許されない。
2. このような行動は包括的核実験禁止条約に反するものであると同時に、国際平和と安全保障に対する、より重大かつ差し迫った脅威であり、核軍縮と核不拡散の取組を推進する国際社会に対する重大な挑戦であることから、本委員会は、これまでも増して、強く非難する。
3. 本委員会は、北朝鮮に対して、核兵器開発計画を即時かつ全面的に放棄し、速やかに国際核不拡散体制に復帰することを、これまでも増して強く求める。
4. 国際社会が人類の福祉の向上を目指して原子力の研究、開発及び利用を行うためには、核軍縮の推進と国際的な核不拡散体制の維持・強化が必要不可欠である。そのため、本委員会は、国際連合及び国際原子力機関等における取組を強力に支持し、かつ、我が国が率先してその推進の一翼を担うべきと考えている。